

## 6 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

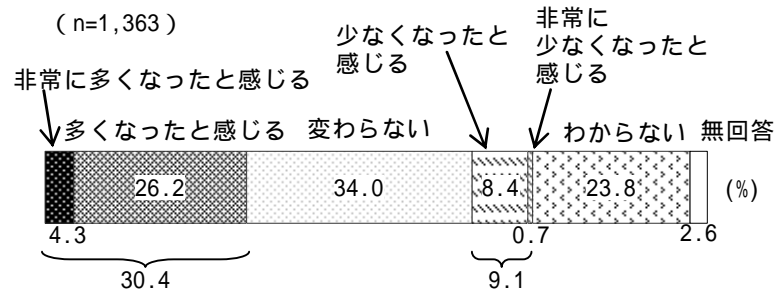
### （1）居住地域における最近の犯罪発生状況

「多くなったと感じる」は3割

問23 あなたが住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況についてどう感じますか。

（ は1つ）

<図表 6 - 1> 居住地域における最近の犯罪発生状況



住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況を聞いたところ、「非常に多くなったと感じる」（4.3%）、「多くなったと感じる」（26.2%）を合わせた、『多くなったと感じる計』（30.4%）は3割であった。

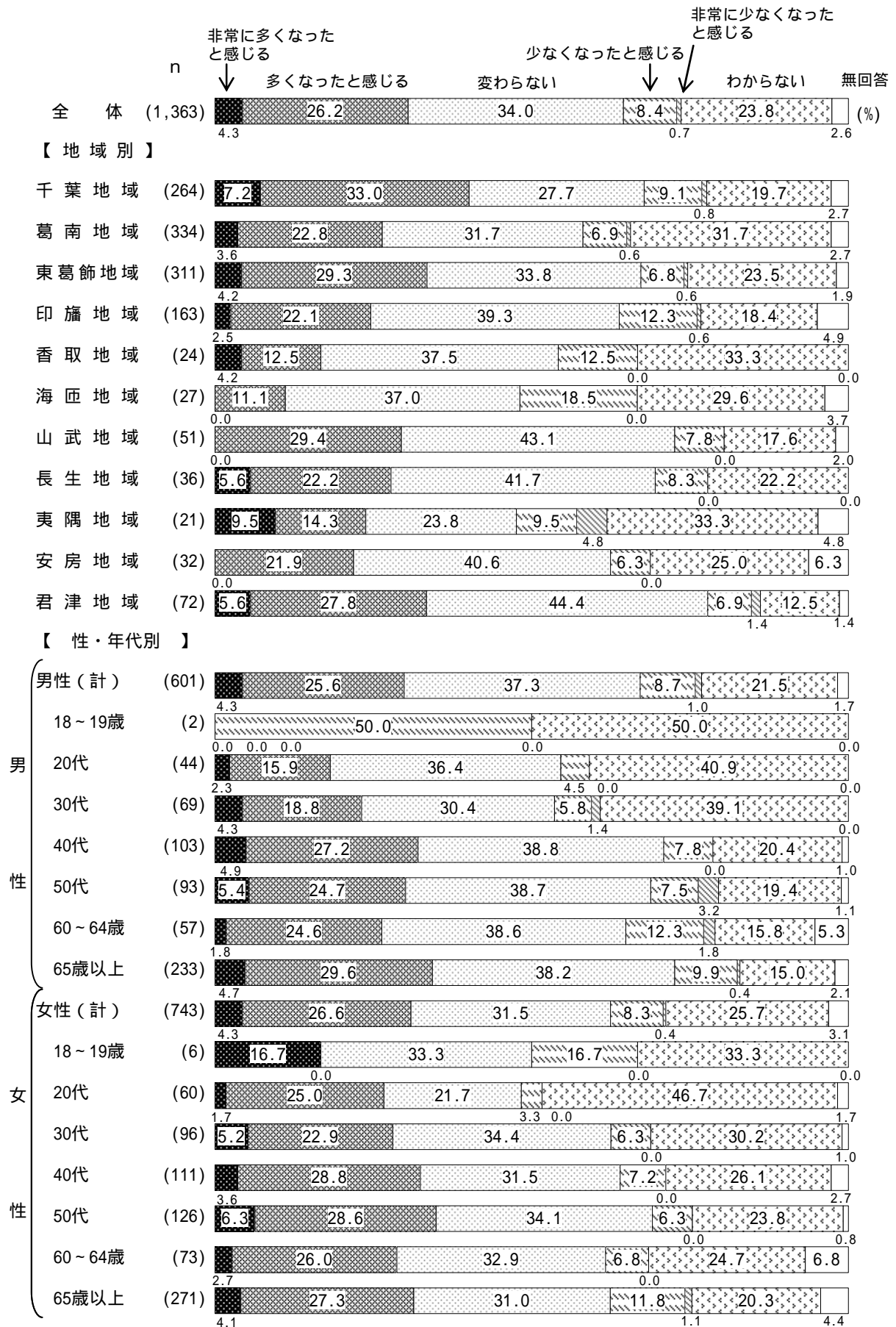
一方、「少なくなったと感じる」（8.4%）と「非常に少なくなったと感じる」（0.7%）を合わせた、『少なくなったと感じる計』（9.1%）は約1割となっている。（図表 6 - 1）

#### 【地域別】

地域別にみると、『多くなったと感じる計』は、“千葉地域”（40.2%）で4割と高くなっている。（図表 6 - 2）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 2 > 居住地域における最近の犯罪発生状況 / 地域別、性・年代別

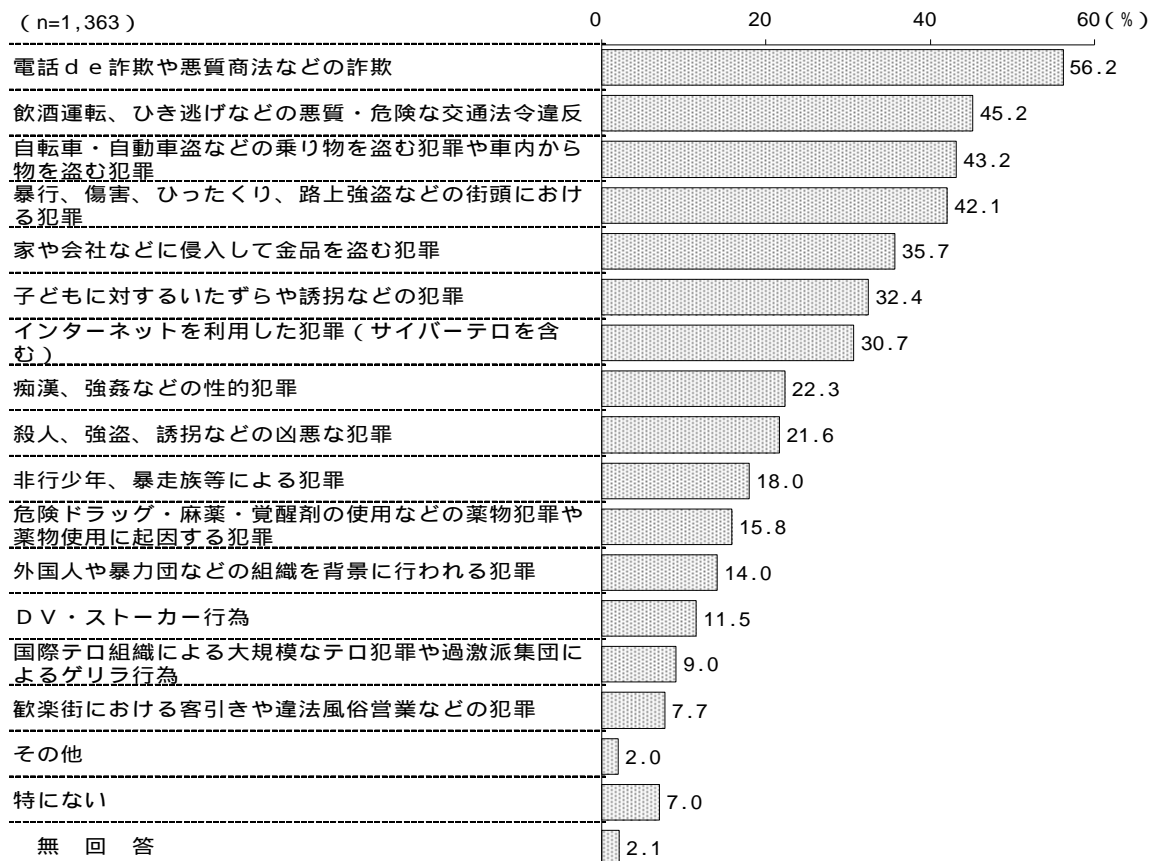


## （ 2 ）身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は 5 割台半ばと最も高い

問24 あなたが、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が犯罪に巻き込まれる危険性について不安を感じている犯罪はありますか。（はいいくつでも）

<図表 6 - 3> 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）



不安に感じている犯罪を聞いたところ、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」（56.2%）が 5 割台半ばと最も高くなっている。以下、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」（45.2%）、「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」（43.2%）、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」（42.1%）が続く。（図表 6 - 3）

### 【地域別】

地域別にみると、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、“山武地域”（72.5%），“夷隅地域”（71.4%）で共に 7 割を超えて高くなっている。（図表 6 - 4）

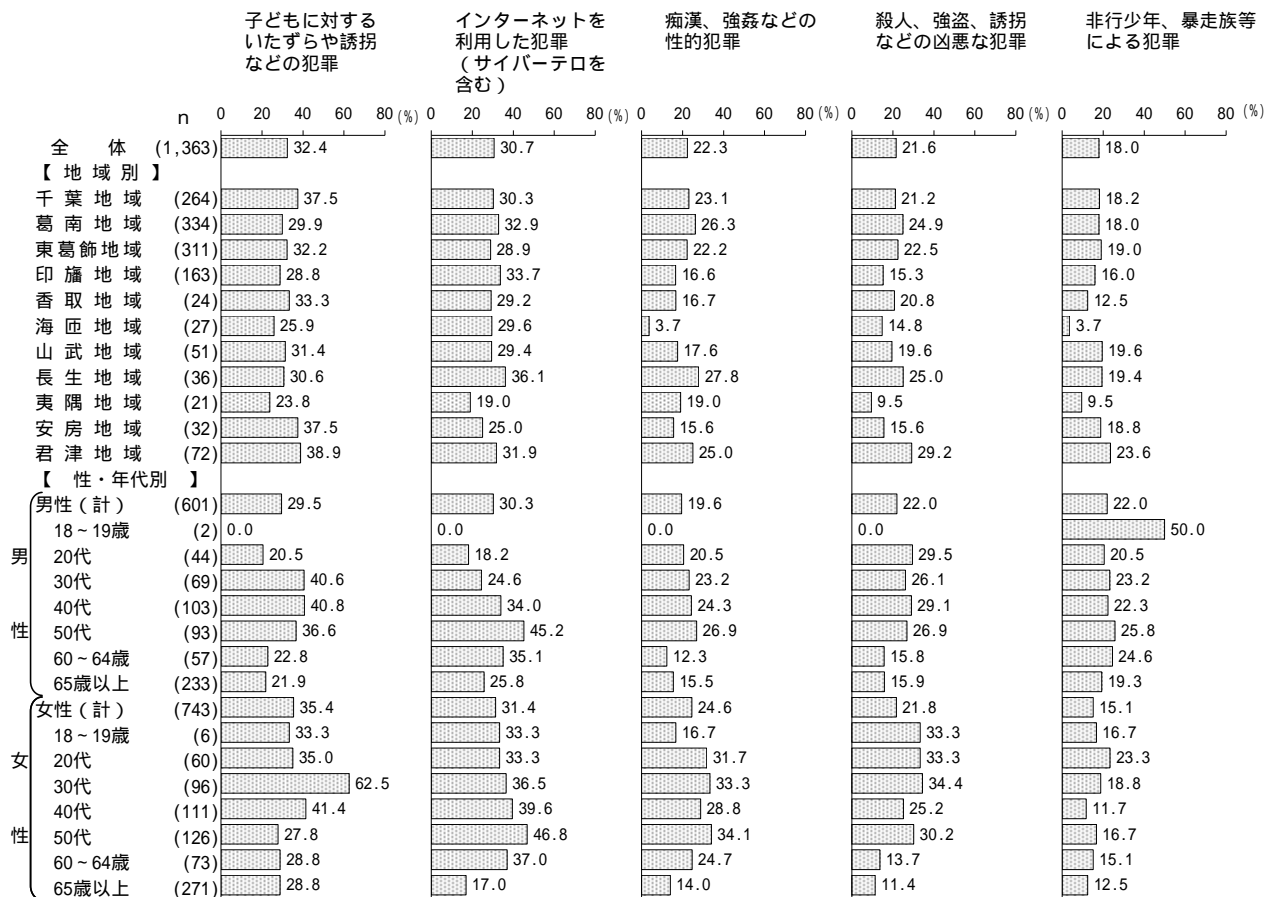
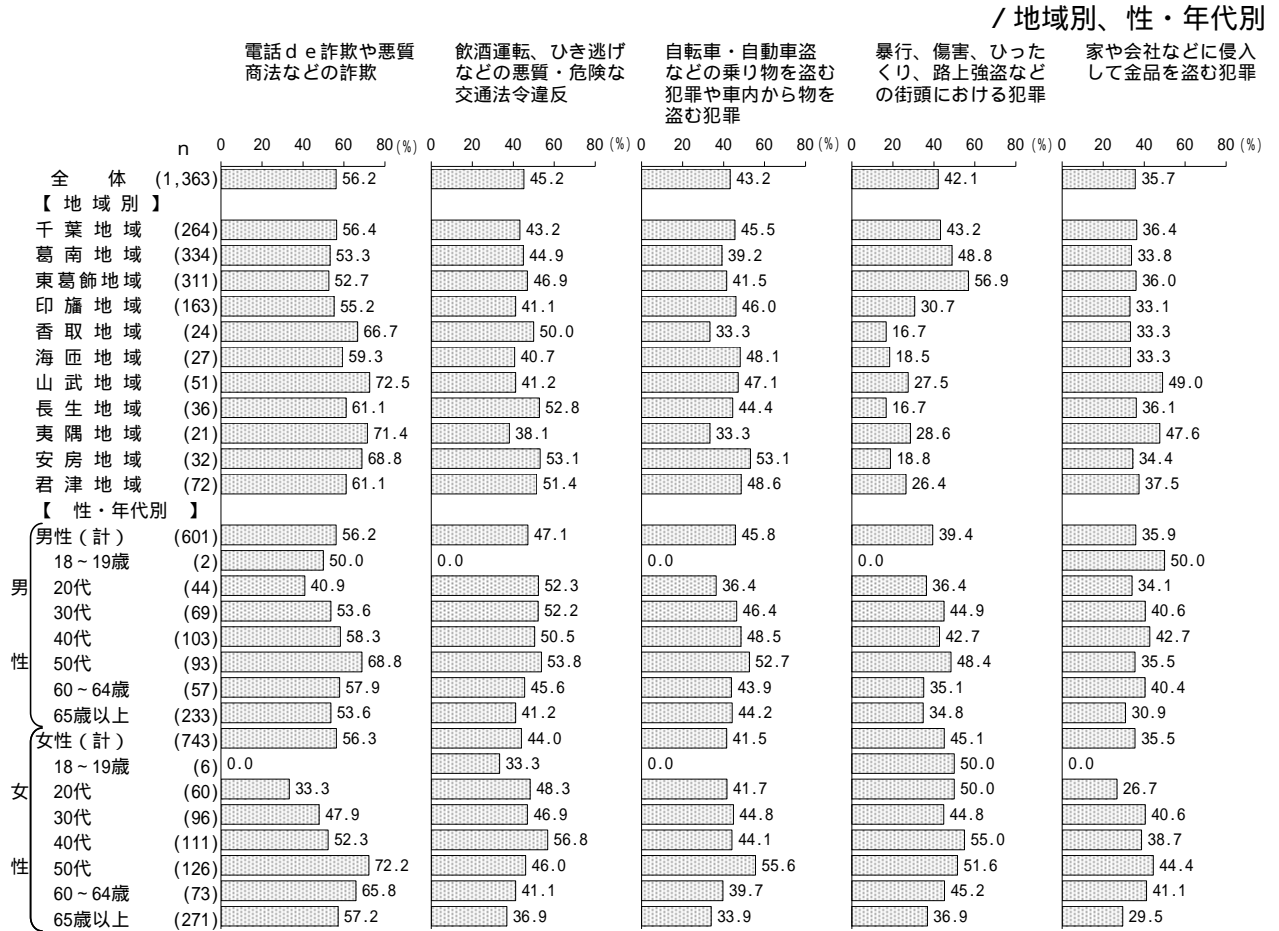
### 【性・年代別】

性・年代別でみると、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、男性の 50 代（68.8%）で約 7 割、女性の 50 代（72.2%）で 7 割を超えて高くなっている。

「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、女性の 40 代（56.8%）で 5 割半ばと高くなっている。（図表 6 - 4）

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 4 > 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪（複数回答）

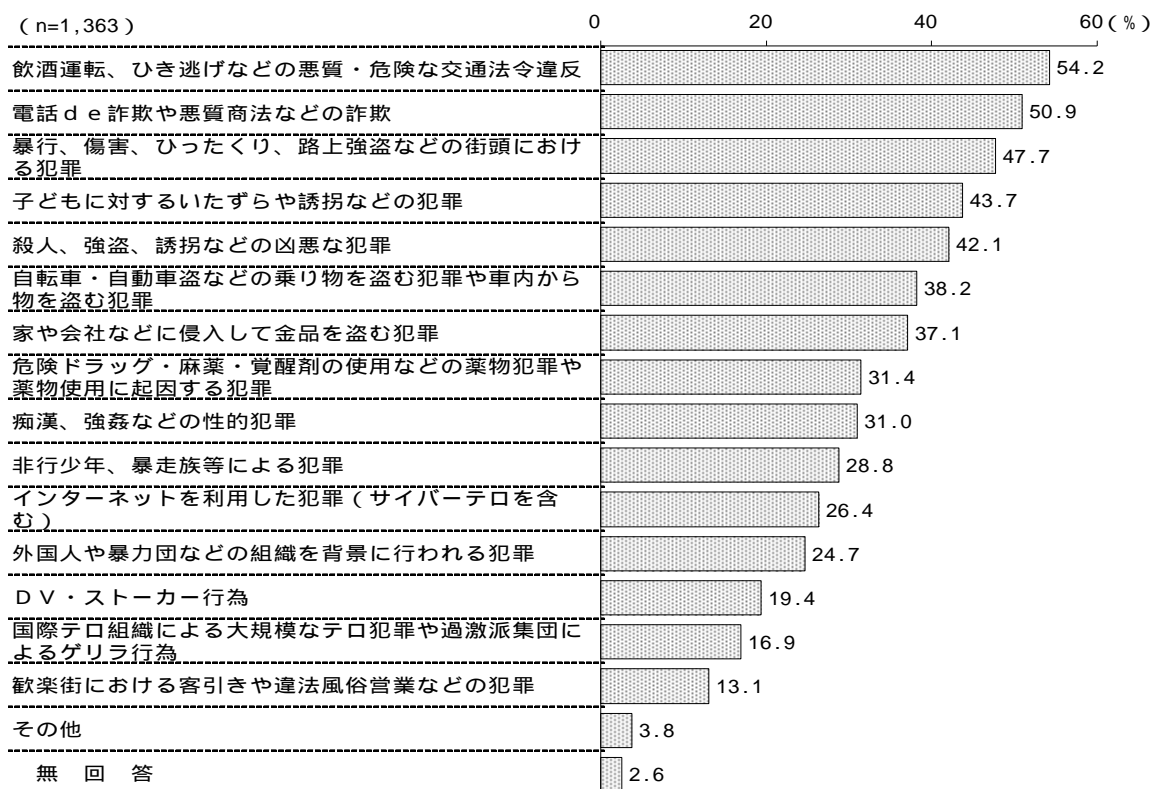


### （ 3 ）警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪

「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」が 5 割台半ばと最も高い

問25 あなたが、警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪は何ですか。（はいいくつでも）

< 図表 6 - 5 > 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答）



警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(54.2%) が 5 割台半ばと最も高くなっている。以下、「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」(50.9%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(47.7%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(43.7%)、「殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪」(42.1%) が続く。(図表 6 - 5)

#### 【地域別】

地域別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、“長生地域”(66.7%)、“夷隅地域”(66.7%) で共に 6 割台半ばと高くなっている。

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、“夷隅地域”(71.4%) で 7 割を超え、“香取地域”(70.8%) で 7 割と高くなっている。(図表 6 - 6)

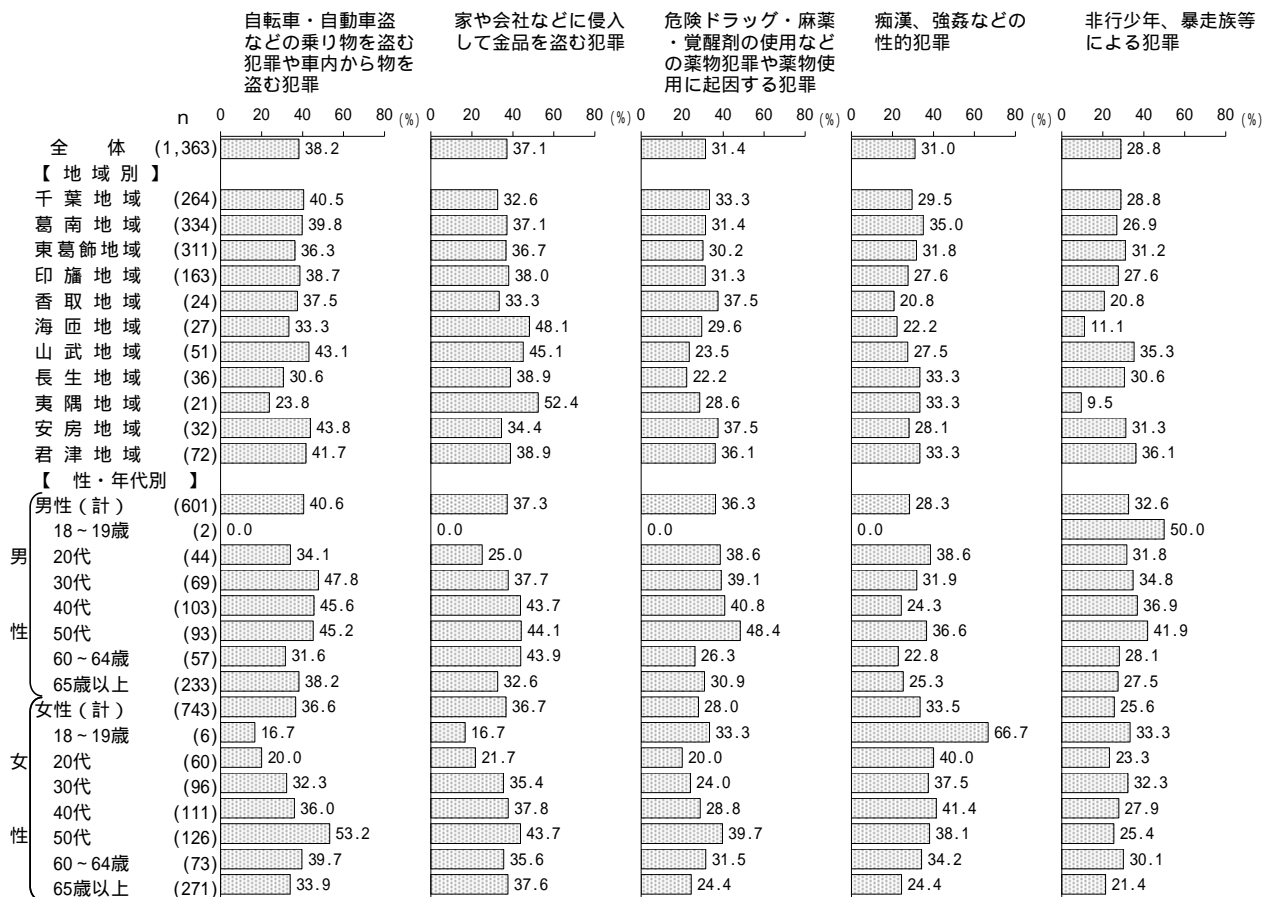
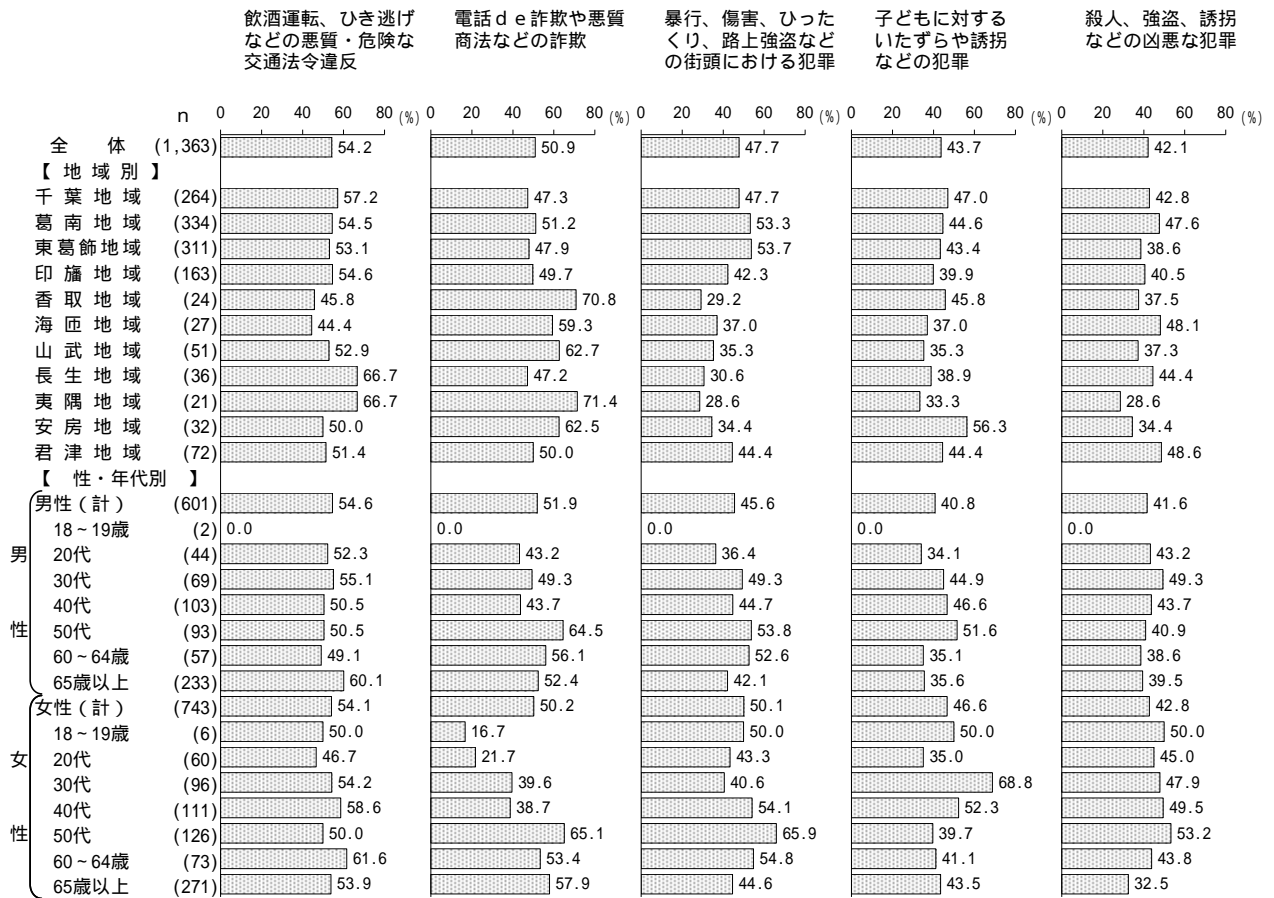
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」は、男性の 65 歳以上(60.1%) で 6 割と高くなっている。

「電話 d e 詐欺や悪質商法などの詐欺」は、男性の 50 代(64.5%) で 6 割台半ば、女性の 50 代(65.1%) で 6 割台半ばと高くなっている。(図表 6 - 6)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 6 - 6 > 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪（複数回答） / 地域別、性・年代別

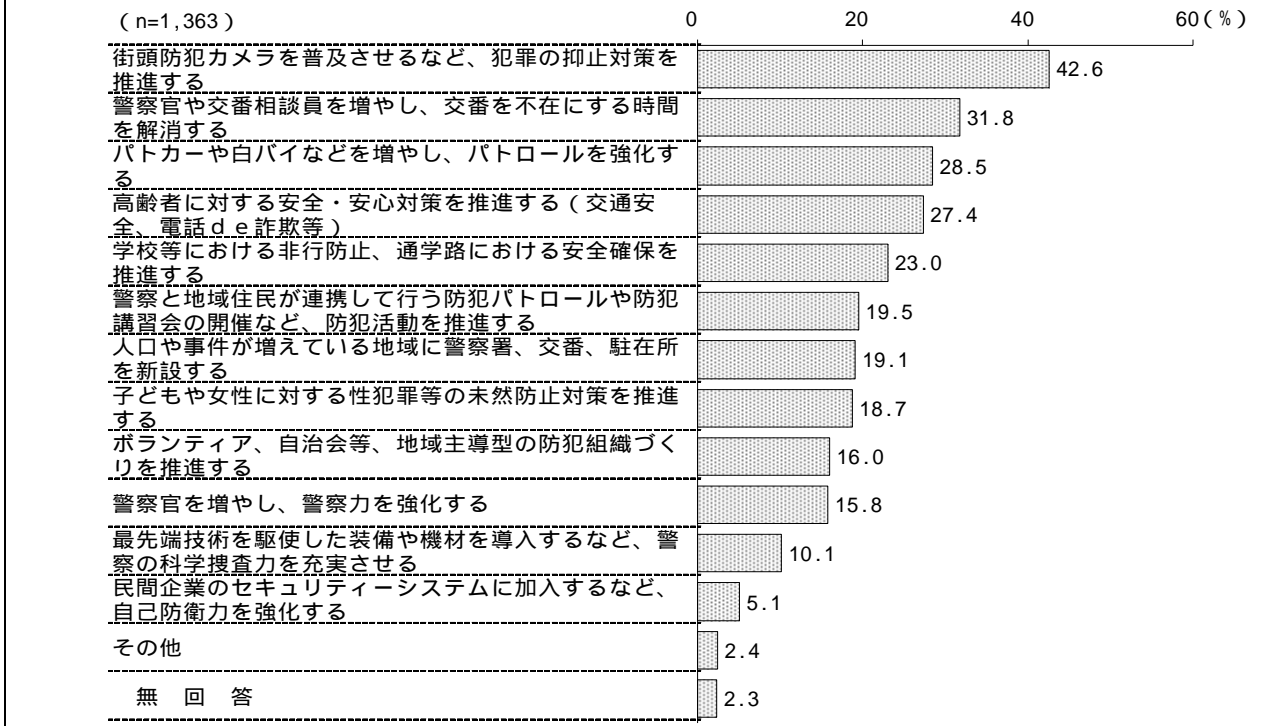


（４）安全で安心できる生活を守るために必要なこと

「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」が４割を超え最も高い

問26 あなたは犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要だと思いますか。（ は3つまで）

<図表 6 - 7> 安全で安心できる生活を守るために必要なこと（複数回答）



犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要かを3つまで選んでもらったところ、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」(42.6%)が4割を超えており最も高くなっている。以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」(31.8%)、「パトカーや白バイを増やし、パトロールを強化する」(28.5%)、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、電話 d e 詐欺等）」(27.4%)、「学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する」(23.0%)が続く。(図表 6 - 7)

【地域別】

地域別にみると、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」は、“夷隅地域”(28.6%)で約3割と低くなっている。

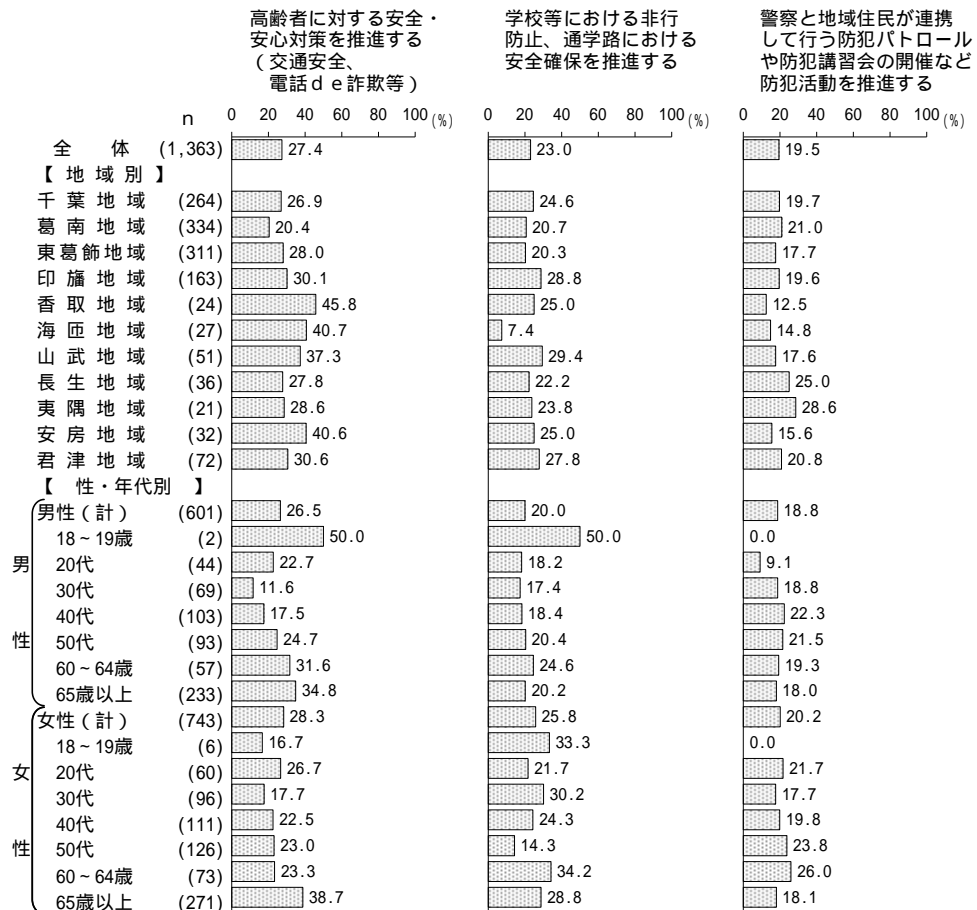
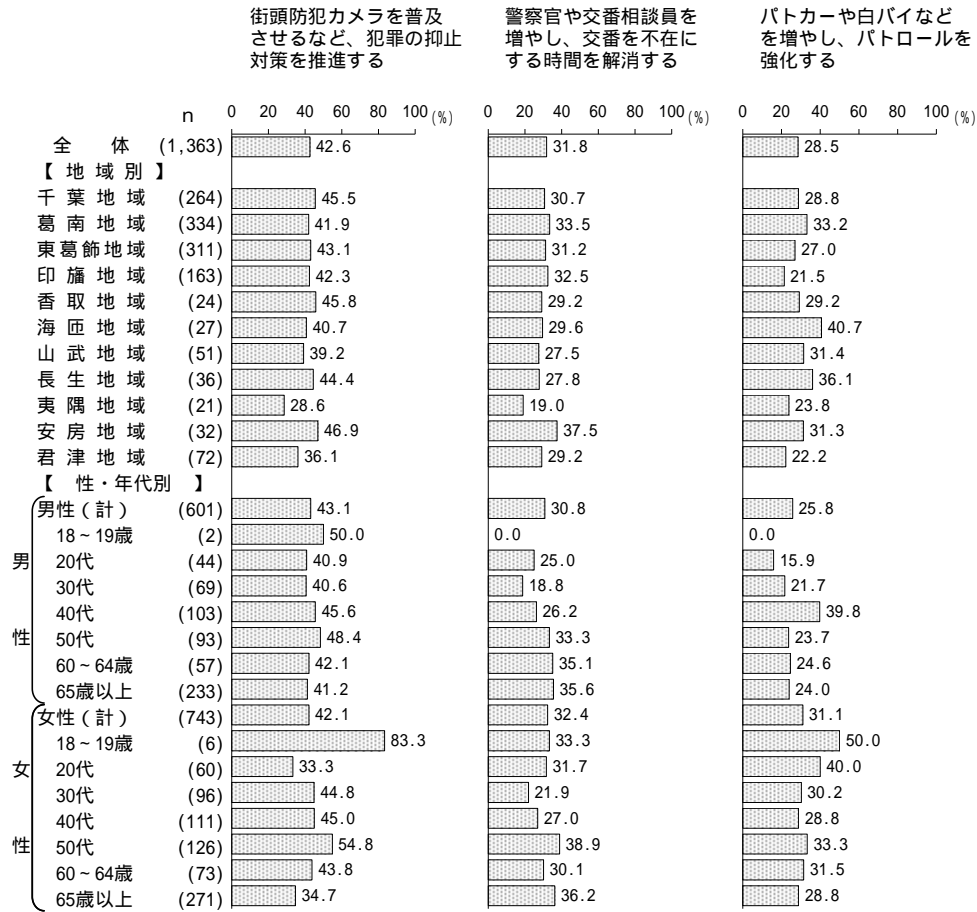
「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」は、“夷隅地域”(19.0%)で約2割と低くなっている。(図表 6 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」は、女性の50代(54.8%)で5割台半ばと高くなっている。(図表 6 - 8)

第 53 回県政に関する世論調査 ( H28 年度 )

< 図表 6 - 8 > 安全で安心できる生活を守るために必要なこと ( 複数回答 ) / 地域別、性・年代別 ( 上位 6 項目 )





このほかに、「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」やここまでの質問（問23～問26）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、148 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答（抜粋）

信号無視、スピード超過、あおり、非常に多いのでとにかく小さなことでも取締りしてほしいです。（女性、30 代、千葉地域）

夜間のバイクでの暴走族がうるさい。パトロール強化をお願いしたい。（女性、40 代、葛南地域）

交番・派出所がパトロール中で無人になる時間がなくなる事を望みます。（男性、40 代、葛南地域）

防犯カメラの交差点ごとの設置や犯罪の早い解決。（男性、50 代、東葛飾地域）

県内に防犯カメラを充実すべきと考える。また、その設置状況を地域住民に情報提供するべき。  
（男性、65 歳以上、印旛地域）

警察官に相談しやすい環境作り、これも警察官の人間性の問題が大きいと思う。いくら人数を増やしても、通り一篇の対応しかしてくれないのなら、性能の良い機器を増やした方がいい。目黒にいたころ、よく自転車で見回って街灯を取り替えたり、何か困ったことがあったらすぐ来てくれた警察の方が（おまわりさん）いらっしやいました。退職される時、地域の人達から花束を贈られていました。地域ごとにそういう人がいてくれたら安心して暮らせると思う。  
（女性、60～64 歳、夷隅地域）

移動交番があり、とても良い事だと思います。先日散歩をしておりましたら、警察の方が（小学校一年生、たぶんチーバ君のカバーをかけていた）知らない人はついて行かない...等お話をしていた。とてもよかったです。たちどまってきてしまいました。（女性、65 歳以上、葛南地域）

警察のパトロールを強化、地域住民と連携して、安全な町づくり。（男性、40 代、千葉地域）

警察は事件が起こった時にしか動けないと思うので、町会や地域の自助がないと犯罪は防げないと思います。（女性、40 代、葛南地域）

自転車の乗り方について、スマホいじり、左側通行をしていない。（男性、40 代、印旛地域）

犯罪を起こす原因をなくすには一つには家庭環境、友人関係、学校関係に問題がある。  
（男性、65 歳以上、安房地域）